

gojyo shoutenkai
五 条 商 店 会

黄色い花が通りを彩る



▲マリーゴールドを決まった配列で植栽する会のメンバー

夏の行楽シーズンに向け、訪れる人々を花でおもてなししようと5月24日の早朝に、五条商店会員が集まり、五条通の歩道上に設置されている58基の花壇などに、用意された約1400個のマリーゴールドが植えられ、まちを彩りました。

この行事は、五条通のバリアフリー化など、道路を整備したことを機に、毎年実施されています。当初は、五条通の花壇を利用し、市民による花壇づくりコンテストも数年間行われていました。

現在は、花壇に近い会員が雑

草を取り除いたり、水をあげるなどすべて管理し、水間英文会長は「管理するのは大変ですが、それぞれの店舗が目前にある花壇を管理しているので、日々きれいな状態が保てています」と話します。作業する数日前には、恒例行事として、お花見も行われ、会員同士が親睦を深めているそうです。

また、商店会の中には、今回の花植えなど、事業の中心として活躍している事業部が組織されており、さまざまな企画を実施しています。

花の苗やプロのアドバイスなどが書かれているマニュアルを準備していた事業部の阿部拓史委員長は、「準備など、いろいろ大変なこともあります。これからも五条通を歩く人たちに、喜んでもらえるよう頑張りたい」と話します。

また、花壇に花を植えるだけでなく、春になると街路灯に桜の飾り物を設置したり、街路樹も剪定するなど、通りの美化活動も積極的に進められています。

